

一般質問 Q & A



至誠の会
鷲山 喜久

都市公園条例に規定の使用料を近隣市並みに引き上げ

Q 森林果樹公園、大池公園等の都市公園の使用料は、1㎡あたり、一カ月30円である。袋井市では、同じ条件で185円である。使用料を他市並みに引き上げる考えはないか。

使用料の見直しは、現状、考えていない

A 当該店舗等を設置すること、公園機能が高まり、結果的に、公園及び体育館の利用者増にも繋がっています。使用料を含め、民間事業者を導入しやすい環境を整える観点から、使用料の見直しは考えていません。

松葉の滝、菊水の滝周辺の安全と景観の確保を

Q 2つの滝は、県の「みずべ100選」になっている。それにふさわしくなるよう、松葉の滝は、道中の安全対策、風倒木の撤去と案内看板の設置を、菊水の滝は、滝壺周辺を整備する考えはないか。

早急に整備し、地元まち協との協働事業で管理

A 松葉の滝、菊水の滝について、現状、危険な箇所や法面の荒廃などもあります。

早急に、整備を実施し、以後は、地元のまちづくり協議会と市との協働事業として管理を進めていきます。



滝壺周辺の整備が必要な「菊水の滝（海老名の滝）」



創世会
小沼 秀朗

お祭りを活用した掛川市ならではの地域振興策は

Q ラグビーワールドカップ開催日は市内祭典日と重なる。東京五輪の年に市政15周年事業や祭典継承を考えるシンポジウム等を開催し、全国、世界へ市内祭礼文化を発信して観光誘客に繋げる策はないか。



市内祭礼文化が結集した市制10周年事業（平成27年）

広域連携で取り組む

A ワールドカップの情報と掛川市の祭典情報を連携させることで、相乗効果が生まれる形を検討し、県や中東遠地区と連携して誘客に繋げていきます。また、お祭りの歴史を調査し、国の重要無形民俗文化財指定に向けて取り組み、成果を踏まえながら情報発信して行くような機会を研究していきます。

会を研究していきます。

スポーツ施設と医療の連携で魅力あるまちづくりを

Q エコパ、つま恋、いいの広場等の市内のスポーツ関連施設と医療機関との異種機能連携をとりスポーツ公園の充実と健康、医療を結んだまちづくりが図れないか。

異職種機能の連携策を検討

A つま恋はスポーツ広場、レストラン、宿泊施設を備えています。健康効果が高い「掛川深蒸し茶」を飲み、希望の丘で健康を学んだり、中東遠総合医療センターが民間宿泊施設と連携した1泊の人間ドックを実施するなどの官民の連携も掛川市の大きな魅力の一つと思っています。

市、民間のそれぞれの職種いろいろなセクションが連携して、一つの大きな目標に向かって進むよう、異職種機能の連携策の検討をしつかり進めていきたいと思っています。